



クローズアップ!

三水会センターから広がる、大人のネットワーク

生活・情報委員会とショーイングジャパンの合同会議を6月14日(水)に、商工会事務局三水会センターのキッズルームにて、ハイブリッド形式で開催いたしました。生活・情報委員会の傘下にある3つの活動の各活動のリーダー、ショーイングジャパン、商工会事務局の皆様が集まり、本年度の活動報告、今後の活動予定、課題を発表し、情報共有の機会となりました。特に有益となった情報は、ひとつの活動でしか使用してこなかった道具を別の活動と共有することで、活動内容を広げられるということ。横の繋がりを大切にすることを重要さに気づかされた会議となりました。

暑い日が続く、どうしても室内に籠もりやすくなりがち。三水会センターに設備された図書館に足を運ぶ人は多いでしょう。その三水会センターはキッズルームというお子様連れで遊んだり、情報交換できる場所を提供しています。商工会の生活・情報委員会、ショーイングジャパンの活動を行っているのもこのキッズルームです。時はさかのぼること2008年、当時の婦人部が「ピーカンキッズ・読み聞かせ」と題して始まったのが活動の始まりで、2013年に婦人部の活動休止に伴い、生活・情報委員会が発足して以来、今もなおその活動は引き継がれています。「この活動の思いは時間が経っても変わらないです。」という当時を知る今回ヒューストン駐在3回目のゆきこさん。子どもに手がかからなくなった今回のヒューストン駐在で、ゆきこさんは読み聞かせの会で活躍されています。



あそぼーかいのどらおくん&どらちゃん

読み聞かせの会が使用している大型絵本は、読み手がページをめくるのには大きすぎるため、めくる係りと役割を分担しながら読み進めます。イラストの赤の色が目立つだるまさんの絵本は、子どもたちの目をひき毎回大人気です。



読み聞かせの会 大型絵本

う。絵本を5冊ほど読み終えたくらいがちょうど良い終わりのタイミングです。子どもだけでなく、大人も楽しめるようにと始まった最後のコーヒータイムは、お母様方どうしが情報交換できる貴重な時間になっているそうです。ネットで沢山の情報は得られるようになりましたが、それでもそれぞれが抱えている悩みや、こうしたケースでは他の人はどうされているのだろうという疑問の答えはなかなかみつけれられません。突然の英語圏での生活、慣れない車の運転、子どもに何かあったらどうしようという不安など。それぞれの経験を共有する場となって、お互いに助け合ったり、繋がることで当地でのネットワークを広げることは大事です。

商工会会員のご家族を参加対象としたプログラムのニーズは常にあります。そこで生活・情報委員会の新しい活動として、「三水会クラブ」の名のもと昨年10月にスタートしました。ピーカンキッズの活動がお子さまが主人公になるの

生活情報

お助けマップの生活情報



学校



車/免許



病院/クリニック



不動産



郵便



習い事



ショッピング



サロン



レストラン



昆虫



テキサス土産



ペット

とは対照的に、大人を対象とする生活情報関連テーマのインフォーマルなお茶会セミナー・情報交換会です。今後は、現地で日本語を学んでいるアメリカ人を対象とし、対面で日本人と交流できる「三水会クラブ」第2弾を計画中です。ボランティアに関心のある方、ご意見・ご要望などございましたら、是非三水会事務局までお問い合わせください。

連絡先: 商工会事務局 sansuikai@jbahouston.org
(生活・情報委員長 根本真樹子)

第9回 三水会クラブ

夏休み! 子供と一緒に浴衣の着付け

今年の夏は親子で浴衣を着てお出掛けしてみたい、浴衣は持っているけれど綺麗に着こなせない、もうずいぶん長いこと浴衣に袖を通してない等々のお声を拾い、第9回三水会クラブでは浴衣の着付け教室が開催されるということで、Showing Japanも協力させていただきました。参加者はファミリー、母娘、個人と様々、加えて小林事務局長も。



最初はやはり浴衣選びから。皆さん、コーディネートに悩みながらも楽しそうにお好みの浴衣と帯を選んでいらっしゃいました。着物とは違い、浴衣を一人で着るのはそんなに難しくはないものの、1時間半という短い時間内で初心者に着付けの手解きをするのは、講師も相当難しかったと思います。まずは講師の細川容子さんが浴衣を羽織る前の身繕いから文庫結びの帯結びをして着付けを完成させるまでの一連のプロセスを一気にデモンストレーション。美しく着こなすためのちょっとしたコツとポイントを着付けのステップ毎にわかりやすく解説してくださいました。今回は幸いShowing Japanからのサポート人員が多かったこともあり、その後は参加者の方それぞれの着付け練習をほぼ一対一でお手伝いす



ることができました。

小学生のお嬢さんは持参した浴衣を自分で着られるようにと何度も練習して頑張っていました。あるお母さんはご自身の着付けに加え、お子さんへの着付け練習もあって少々忙しかったかもしれません。リバーシブル帯の小粋なアレンジに歓喜も興味も持って下さる方もいらっしゃいました。小さな男の子用の浴衣も用意していましたが、「僕はイヤ!」と背を向けるというあるあるな一幕も。最後はみんな笑顔で記念撮影。終了後の茶話会では、浴衣のことだけでなくいろいろな話題に花が咲き、貴重な情報交換の場となりました。Showing Japanとしても三水会クラブでの講師・支援は初めてでしたが、楽しく参加させていただき良い経験となりました。



なにぶん浴衣は洋服と違い、平面の布を立体の体形に合わせて丈を決めたり、衿を合わせたりして身体にまとわせていくものです。この1回の講習で魔法のごと綺麗に着られるようになるわけではありません。これを機会にご自身が浴衣を着たいと思った時に着られるよう、お家で練習してみたいかがでしょうか。さあ、夏休み! 浴衣でお出掛けするもよし、夕涼みを楽しむもよし、暑ーい夏を涼やかにお過ごしただけいたら嬉しいです。

(木下留理子)

三水会クラブ 次回予定

☆ 日時: 7月25日(火)

☆ テーマ: Back to School

[ご予約はこちらから](#)